

kigokoro

EIDAI Corporate PR Magazine Summer 2024 / vol.20



kigokoro

Summer 2024 / vol.20

第20号 令和6年7月1日発行
編集・発行: 永大産業株式会社 事業管理部 広報課
〒559-8658 大阪市住之江区平林南2-10-60 TEL: 06-6684-3058 FAX: 06-6684-3051



無骨さゆえの、研ぎ澄まされた上質さ

アイアンの素材感を最大限に引き立たせるため、
いっさいの無駄を省いた洗練されたデザインの手摺です。
EIDAIの「ソリッドアイアン」は、空間のなかでいっそうの存在感を放ちます。



木を活かし、よりよい暮らしを

EIDAI

お客様相談センター

☎ 0120-685-110

【受付時間】平日・土曜日9:00~18:00(休業日:日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始)

永大産業株式会社
www.eidai.com

EIDAI ショールームでお確かめください。

EIDAI SR

検索



新製品紹介

system kitchen
Lafina Neo
ラフィーナネオ
Realista
リアリスタ

連続石目柄に加え、新たに連続木目柄も登場

ラフィーナネオ リアリスタシリーズ



詳細はこちら

システムキッチン『ラフィーナネオ』の扉デザインが拡充。2023年9月に発売した連続石目柄に続き、本年5月、高級感と存在感あふれる連続木目柄を新たに発売しました。



■キッチン ペニンシュラ型プラン ●扉：リアリスタビター柄<UM1> ●天板：人造石 クッキングランチ柄<SC>
■カップボード ●扉：リアリスタチャコール柄<UA3> ●カウンター：人造石 クッキングランチ柄<SC>



■リアリスタビスケ柄(UK1)
重厚で木目がはっきりしたケヤキをイメージ。存在感のある板目模様を、明るい色味で仕上げました。流れる水のように涼やかな印象で、和テイストを取り入れた空間にぴったり合います。



■リアリスタクリア柄(UY1)
杉の中でも良質で希少な品種を選定した、細かい木目ながらも存在感のある印象的なデザインです。木質のインテリアとなじみやすい色味に仕上げました。



■リアリスタブルー柄(US1)
色の差と不規則な木目が絶妙に見えるサテンウォールナットをブックマッチ貼りで組み合わせたイメージの柄です。個性的な木目柄をキッチンとして大きく取り入れることで、空間にメリハリを与えます。



■リアリスタビター柄(UM1)
巨木を支える樹幹から切り出したような木目は不規則な縞模様で、濃淡あるグラデーションが特徴的な、力強く深みのあるデザイン。木質のインテリアとも合わせやすく、空間に落ち着いた印象を与えます。

素材の特に美しい表情を選びすぐり、一枚物のように連続させてデザイン
ここ数年、インテリアのトレンドのひとつとして、木質と非木質をミックスしたコーディネートが人気です。これを受けて『ラフィーナネオ』では、昨年9月に連続石目柄の扉を発売。モチーフの素材感を忠実に再現する『リアリスタシリーズ』の第一弾として、一枚の石から作り出したような重厚感ただよう色柄を実現しました。そして今回、第二弾となる連続木目柄を発売。これによって木質と非木質の素材感が出そろい、ミックスコーディネートにより楽しいキッチンとなりました。

連続木目柄では、木にこだわるEDIAIが選りすぐった4柄をラインナップ。それぞれの木の表情の特に優れた部分にフォーカスし、キッチンの端から端まで木目を連続させ、迫力ある一枚板のようにデザインしています（連続性はキッチン側・ダイニング側の正面扉のみで、側面には連続していません）。

『リアリスタビスケ柄』は重厚で明瞭な木目をもつケヤキがモチーフで、『リアリスタブルー柄』は個性的なサテンウォールナットのブックマッチ貼りをイメージ。『リアリスタクリア柄』は良質な杉の細かな木目まで再現し、『リアリスタビター柄』は巨木を思わせる力強い縞模様が印象的なデザインです。

●詳しくは右上の二次元コードからご覧ください。

本心に難しくて。

服部 節ひとつでも、有るのと無いのでは印象が変わります。自分たちで柄をデザインする作業は、既製品のシートから選ぶのとは比較にならないほど複雑でした。

前田 その分、出来上がった時には感動がありましたね。ここまで柄がつかないと、やっぱり迫力が違うなど。

志賀 私は入社1年目でこのデザインに取り組んだので、苦労しましたが学びも多く、非常に思い出深い製品になりました。

「リアリスタシリーズ」のコーディネートをどのように楽しんでいただきたいと思います。

前田 石目と木目の両方を、連続性をもたせて表現できているのは『リアリスタシリーズ』の大きな強み。キッチン本体は木目、カップボードは石目といったコーディネートも楽しんでいただきたいと思います。

服部 生産フローも効率的に改善を重ねたことで、より多彩なプランバリエーションに対応できるようになりました。今後もより一層、キッチン空間としての提案力を強化していく考えです。



先行発売した連続石目柄が展示会で好評を博し、連続木目柄に挑戦する士気が高まったと語る3人。



小割りの扉が多いキッチン側も柄が連続。

志賀 本物の木の木目を編集する作業が一番大変でした。やりすぎると不自然さが出たり、単調になってしまったり。万人に好まれながらも個性がある、そんな売れる柄を探るのが



住設商品開発課
左から 前田 雄亮 課長
服部 良紀
志賀 遼太郎

竹で世界中を笑顔に

神社やお寺、あるいは日本庭園などで竹垣を目にしたことはあるでしょうか。そのシンプルで洗練された姿は、見る人の心を落ち着かせます。和の雰囲気を感じ出すには最適なアイテムと言えるでしょう。しかし、そんな竹垣もバブル崩壊や和風建築の減少により需要は減っています。

今号では、竹垣専門店として京都の名だたる神社仏閣の竹垣を手掛ける一方、一般家庭にも気軽に使える竹垣や、竹で作ったボトルスタンドなど、現在の暮らしにあった竹工芸品を取り扱って、竹の魅力を発信している長岡銘竹株式会社の真下彰宏社長にお話を伺いました。



長岡銘竹株式会社
代表取締役
真下 彰宏氏

まずは長岡銘竹株式会社様について教えてください。
当社は1952年(昭和27年)に、古くから竹の名産地として知られている京都の西山地区に工房を構えて、竹垣製作の専門店として創業しました。私は1998年(平成10年)に入社し、先代の社長の指導のもとで技術を磨き、2021年(令和3年)に3代目の社長に就任しました。入社後、バブル崩壊などによる受注減少や、2010年(平成22年)の工房火災など、危機的な状況も経験しました。社員全員で経営の立て直しに奔走する中で、「このまま下請けの仕事等待つただけではいけない。人々にもっと注目してもらい、竹の良さを知ってもらいたい。」と考えるようになり、そこで、ホームページの開設や、より多くの皆さんに使っていただける竹のインテリア商品の開発など、新たな取り組みを始めました。

竹材について教えてください。

竹は古来より日本人にとって身近な素材です。古くは縄文時代の遺跡から竹の道具の痕跡が見つかっていますし、皆さんもご存知のかぐや姫の物語にも竹が登場します。このように竹を通して独自の文化を発展させ、様々な道具を生み出してきました。

当社では毎年9月、12月に、竹垣に使う竹の1年分を工房近くの竹林から伐採します。この時期以外に伐採した竹は水分や栄養分が多く、カビや腐敗の原因になります。また、材木のように



竹垣の生産について教えてください。

ご注文いただく竹垣は全てオーダーメイドで、職人の手作業によって作られています。節を揃え、竹を1ミリ単位で削って幅調整するなど、細かな作業が求められます。まさに職人の腕の見せ所です。

近年、施工やメンテナンスが簡単なプラスチック製の竹垣も普及しています。しかし、天然の竹が持つ香りや経年による風合いは、プラスチックでは再現できません。プラスチックの竹垣が使われていた方の中にも、その無機質感到物足りなさを感じ、天然素材の竹垣に切り替えたいという方も多くいらっしゃいます。



フェンスとしての役割を持つ竹垣



京銘竹で作られた酒器

乾燥させると、余計に水分を吸収してカビの原因になってしまうので、特別な処理をせずに倉庫で保管します。一方、屋内で使用する竹は、白竹・胡麻竹・図面角竹・亀甲竹という種類の竹の表面を一本一本火で炙り、中から滲み出た油分を綿で綺麗に拭き取り、天日で乾燥させています。この京都ならではの油抜きを経たものが「京銘竹」で、ツヤがあつて割れにくいという特徴があります。当社でも花活けや酒器などに使用しています。

竹の普及のために様々な活動をされていますね。

当社では「竹で世界中を笑顔に」をモットーに、竹の魅力や素晴らしさを広める活動をしています。その一環として、竹籠編みや竹小物などのワークショップの開催や、様々な企業とのコラボレーションも行っています。和歌山のアドベンチャーワールドさんとは、SDGsの取り組みを紹介する二次元コードを作りました。また、今年の4月には、亀岡市でコンサートを開催された、ももいろクローバーZさんとコラボした竹カップを作り、大変ご好評をいただきました。



アドベンチャーワールドとのコラボで作った二次元コード



ももいろクローバーZとのコラボで作った竹カップ(長岡銘竹様HPより)



竹の選別について教える真下社長

今年の春、新卒の女性を1名採用しました。彼女は京都伝統工芸大学で当社の先代の社長に師事して学んだ、私の後輩にあたります。学校でしっかりと竹工芸を学び、竹の魅力に取りつかれた彼女には、竹垣や竹製品生産の技術伝承はもちろんですが、竹の魅力の発信にも力を入れてもらいたいと考えています。ホームページやウェブショップの管理、情報発信など、若い世代ならではの感性で、新しい風を吹き込んでくれると期待しています。

職人として大切にされていることは何ですか？

お客様の要望をお聞きし、どのような出来上りを望まれているのかを常にイメージしています。例えば、風通しを確保しながらも玄関を隠したい場合は、適度な隙間を設けながら遮蔽する工夫をします。また、洗濯物などを隠したいという場合は、竹を隙間なく設置して完全な目隠しを作ります。お客様のニーズに応じた最適なプランやアイデアを提供し、それを実現することこそが、竹垣職人として最も大切なものと考えています。そのために、常に挑戦を続け、技術を磨いています。

竹は持続可能な素材として、SDGsの達成に貢献する可能性があると考えられています。調査会社のレポートによると、世界の竹の市場規模は2024年から2028年にかけて6.8%で成長すると予測されています。

「放置竹林が問題視され、竹が悪者扱いされること」がありますが、決して悪者なんかではありません。竹には庭や料理を引き立てる役割があり、主役に花を持たせる名脇役として重要な存在なのです。」と語る真下社長からは、竹の魅力を広く知ってもらいたいという情熱と、新しいアイデアで竹の可能性を追求するという熱意を強く感じました。

会社概要

会社名：長岡銘竹株式会社
代表者：真下 彰宏
所在地：京都府乙訓郡大山崎町円明寺海道19
亀岡工房：京都府亀岡市保津町三ノ坪50
従業員数：10名(パート等を含む)
ホームページ：<https://nagaokameichiku.com>



長岡銘竹株式会社



ちょっと
一息の

木と 短歌

いっとなくいとけなき日のかなしみを
われにおしへし 桐の花はも

あくたがわりゅうのすけ
芥川龍之介

相愛でありながら、実ることのなかった
幼馴染への想いを込めた一首

『蜘蛛の糸』『羅生門』などの名作を生み出した芥川龍之介は、小説だけでなく俳句や短歌も手がけていました。その中でも『いっとなく』は、ある女性への断ち切れない想いを詠んだものです。

想いを寄せた相手は、幼馴染の吉田弥生。互いに成長してから、弥生に縁談が舞い込んだことで芥川は自分の恋愛感情に気づき、プロポーズを画策しました。実は弥生も同じ気持ちだったのですが、親族同士の折り合いが悪かったことから猛反対を受け、ついに二人が結ばれることはありませんでした。

桐の花のそばで、あの頃は何も知らず
無邪気だったという「かなしみ」

「いつまでも、幼い頃のかなしみを私に思い出させる桐の花よ」。桐は古くから優れた木材として利用されていますが、初夏に咲く淡い紫色の花にも鑑賞価値があります。かつて、芥川と弥生が親しんだ場所に桐の木があったのでしょうか。芥川の中で、この花と弥生が結び付いて記憶されました。幼かったあの頃は、こんな結末が待っているとも知らず無邪気な二人だった。それを芥川は「かなしみ」と表現しました。

鑑賞のヒント

「いっとなく」や「いとけなき」の意味と同時に、「はも」の役割も重要です。これは係助詞「は」と係助詞「も」がつながり、「くだなあ」という感動・詠嘆を表す連語。主に奈良・平安時代の和歌に見られるもので、芥川の豊かな教養がうかがえる技巧といえます。

EIDAI Headline News

Skism(スキスム)ブランドの製品群をさらに充実 『アルミフレーム片開きドア』などを発売

Skism
スキスム

2月5日、3月25日に発売したアルミフレームの吊り戸・引き戸・オープンウォールおよび片開きドアは、アルミフレームに半透明の樹脂パネルや全面ガラスを配した、開放感のあるデザインの製品です。視覚的に空間に奥行き感をもたらし、スタイリッシュなインテリア空間を演出することができます。



詳細はこちら

片開きドア



デザイン:HS

デザイン:HE



■アルミフレームの開放感あふれる片開きドア

- 透け感のある素材で空間を緩やかに仕切る、海外でも注目のトレンドを取り入れたデザイン。
- 全面ガラスデザインによって、視覚的に空間に奥行き感をもたらします。
- ブラックフレームで輪郭が際立つデザインなので、ドアを開けても閉めても空間にすっきり美しく収まります。
- アルミフレームは、一般的なドアより幅の狭い細見付でスマートな印象。

吊り戸、引き戸、オープンウォール



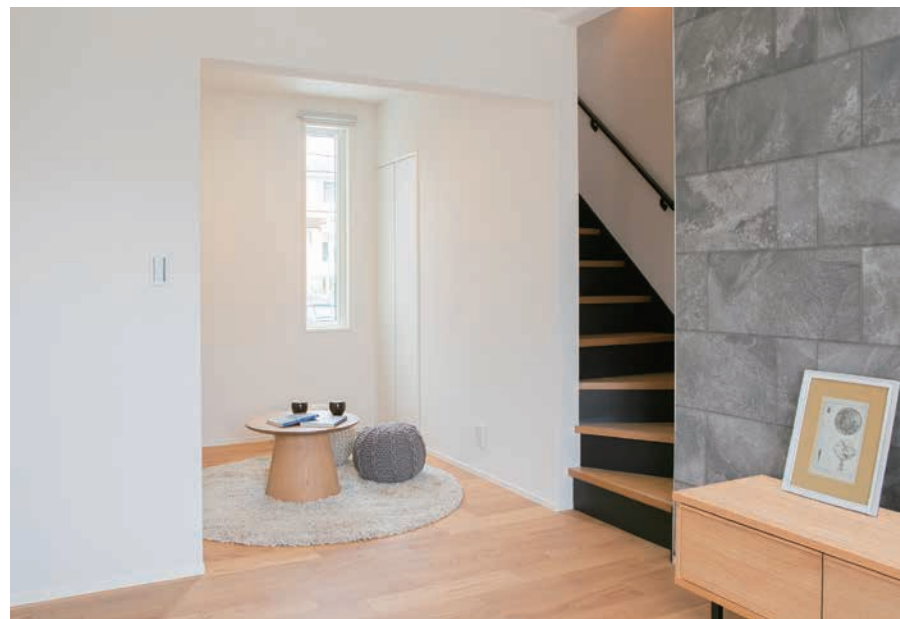
デザイン:HD



採光パネル:ブラウンスモークマット樹脂パネル

■“仕切る”“隠す”をスモークカラーで圧迫感なく実現

- 縦框22mmの細身のアルミフレームに半透明の樹脂パネルを組み合わせたデザイン。
- 扉の向こう側が程よく透けて見え、緩やかに空間を仕切れます。
- 開いたままの状態でもスペースを取らずにすっきり使えるので、ウォークインクローゼットにもおすすめです。
- ブラックのフレームとブラウンスモークカラーのパネルが、シックでモダンなイメージを演出します。



1階ヌック／●フローリング「銘樹モクトーン」ニレ
●収納「スキスムT クロゼット開き戸」ノーブルホワイト柄

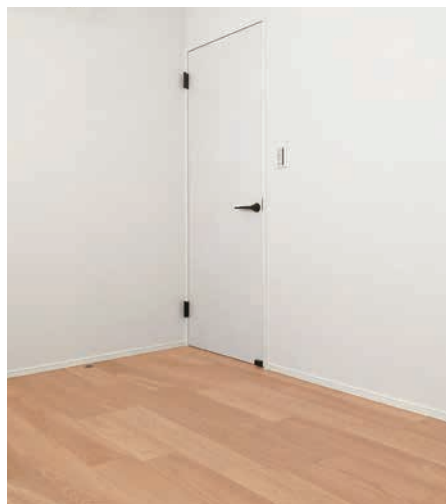
リビングに設けたヌックは、家族の空間を共有しながらもお子様が進んだり、自分の時間に使ったりいろいろな使い方ができるスペースです。



●フローリング「銘樹モクトーン」ニレ
●階段「銘樹（ツギ板化粧階段）」
・踏板 ニレ色 ・蹴込み板 マットブラック柄
蹴込み板のマットブラックがアクセントになっています。



2階主寝室／●フローリング「銘樹モクトーン」ブラックウォールナット
●室内ドア「スキスムT FFデザイン」マットブラック柄
夫婦の主寝室は落ち着いた雰囲気の色使いです。



2階洋室／●フローリング「銘樹モクトーン」ニレ
●室内ドア「スキスムT FFデザイン」
ノーブルホワイト柄
2階洋室は白を基調とした明るい雰囲気です。



株式会社アリスト 戦略企画部 広報課
江藤 友星 様



建物外観

今回、当社で初めて『コンカーボ』を採用しました。建売の住宅に木目ではないフローリングを貼ってみるという挑戦的な試みでしたが、出来上がってみると木目のナチュラルな雰囲気の中に、モルタルの無骨さがマッチして、非常にバランスよく感じました。モルタル調の室内ドアとともに、流行の異素材ミックスコーディネートを取り入れており、他社の建売住宅にはないモダンでありながらも居心地の良い住宅になっています。家族の動線や、子育てを意識した間取りで、家族の時間を楽しんでいただけたと思います。

今後も遊び心を大切にしながら、お客様の一生の暮らしと、安全・安心に向き合い、ていねいに家づくりをしていきたいと思っています。

施工：株式会社アリスト



1階キッチン／●フローリング「コンカーボ」モルタル柄
●収納「スキスムT クロゼット折れ戸」ノーブルホワイト柄
●室内ドア「スキスムT mode 4 DZデザイン」モルタル調グレー柄
リビングルーム／●フローリング「銘樹モクトーン」ニレ

トレンドを押さえた異素材ミックスコーディネートが、ナチュラルな中にもシックな雰囲気を醸し出します。



1階ホール／●上がり框「スタンダードタイプ」ニレ色
●フローリング「銘樹モクトーン」ニレ
●室内ドア「スキスムT mode 4 DZデザイン」
モルタル調グレー柄
玄関ドアを開けると、明るい玄関ホールが迎えてくれます。



1階洗面脱衣室／●フローリング「コンカーボ」モルタル柄
●室内ドア「スキスムT mode 4 DFデザイン」
モルタル調グレー柄
グレを基調とした洗面脱衣室は、家事の時短を考え、1階廊下（左）とキッチン（正面）の2ヶ所に出入り口を設けています。

『コンカーボ』『銘樹モクトーン』 『スキスムT mode 4 室内ドア』 ほか

熊本県内で「ていねいにつくる、ていねいな暮らし」をモットーに、地域に根差した総合建築業を展開されている株式会社アリスト様では、このほど、フローリング「コンカーボ」や「スキスムT mode 4」モルタル調グレー柄の室内ドアを使った建売住宅を建築されました。今回のkigokoroでは、お施主様のこだわりが反映された注文住宅ではなく、販売することを前提に、株式会社アリスト様の考えが映し出される建売住宅での採用事例をご紹介します。

日本の木になる風景

熊本県 天草市

西平椿公園のアカウの木



巨岩を包み込むように根を張る
アカウの木に自然の雄大さを感じる

JR熊本駅より車で西に走ること約2時間、九州本土と天草諸島を繋ぐ橋を渡ると、南蛮文化やキリシタンの歴史が色濃く残る天草市だ。

自然豊かなこの場所は迫害を受けながらも宗教を守り続けてきた歴史があり、港町である崎津集落には世界遺産に認定された崎津キリスト教会などがある。そんな天草市を更に西へ走ると、西平椿公園の看板が見えてくる。山の斜面を覆い尽くす真っ赤なヤブツバキで有名な公園だ。

遊歩道を10分ほど歩くと、巨岩が乱立している場所にたどり着いた。そこで目にしたのは高さ約20メートルのアカウの木。蔵岩と呼ばれる巨岩を包み込むように無数の根を張り、降り注ぐ日差しを遮るかのように枝葉が天を覆っていた。

自然の雄大さ、生命力に溢れたアカウの木は樹齢100年以上で、地元ではパワースポットとしても有名。最近ではSNSで話題になり「天草のラピュタの木」とも呼ばれているそうだ。その存在感、迫力は映画のワンシーンを彷彿とさせるものだった。

さらに遊歩道を歩いていくと目の前には青く澄んだ海が広がっていた。天草灘に沈む夕陽は「日本の夕陽百選」にも選ばれており、その景色も絶景だ。今回は見ることができなかったが、次回訪れる時はぜひ、夕陽も堪能してみたい。

永大産業株式会社 熊本営業所 【住所】 熊本市南区江越1-6-25 【TEL】 096-379-7751

スピーディーかつ丁寧な対応を心掛けています。

永大産業株式会社 熊本営業所は5名のメンバーで、熊本県全域と福岡県南部を担当している営業所です。ベテランから若手社員まで、風通しの良い職場でワンチームとして地域のお客様満足度No.1を目指しています。スピーディーかつ丁寧な対応を心掛けていますので、まずはお気軽にお声がけください。



〔前列左から〕山口 秋山所長 〔後列左から〕田中 磯部 山田

営業マンの
オススメ
ランチ!!



味処「松むら」の馬刺し定食

EIDAI HISTORY

第20回 建材（木質フローリング）

6

前回到引き続き、建材（木質フローリング）の歴史についてご紹介します。

1985年に発売した『直貼りフローリングダイレクト』は、折からのマンション建設ラッシュと相まって、発売後1年を待たずに月間1万坪を売り上げる大ヒット製品となりました。そのころ国内では、マンションの急増に伴い、「足音が響く」など階下の騒音が社会問題となっていました。そこで当社では、その解決策として遮音タイプのフローリングの開発を進めていました。

1987年、当社から日本初となる『遮音直貼りフローリングダイレクト55』を発売しました。ちょうど『ダイレクト』の発売から1年が経ち、他メーカーも直貼りフロアのラインナップを増やし始めた頃でもありました。また、床衝撃音への対応が社会のニーズとして高まっていました。こうした中で、『ダイレクト』の特長を引き継ぎながら、床衝撃音レベルL・55の遮音性能を備えた『ダイレクト55』は業界でも大きな話題となりました。



『遮音直貼りフローリングダイレクト55』

遮音等級	遮音等級に対応する集合住宅の生活状態	
	足音・走りまわる音などに対する感じ	集合住宅の生活状態
L-40	遠くから聞こえる感じ	気がねなく生活できる
L-45	聞こえるが気にならない	少し気をつける
L-50	ほとんど気にならない	やや注意して生活する
L-55	少し気になる	注意すれば問題ない
L-60	やや気になる	お互いにガマンできる程度
L-65	気になる	子どもがいてと下階から文句が出る
L-70	よく聞こえるくらい	自宅に子供がいても上階が気になる
L-75	非常にうるさい	注意していても下階から文句がくる
L-80	うるさくて我慢できない	大変うるさい

■床衝撃音に対する遮音等級と生活実感

さらに、十分な遮音性能を担保するために、試行錯誤を繰り返して、従来の施工方法ではなく下地に接着剤を塗布してその上から置くだけの方法を発案しました。この施工方法を普及させるため、当時『ダイレクト55』を製造していた山口平生事業所に施工業者を集めて研修を行いました。そして、研修を受講した業者が施工する物件に対して製品を販売することで、製販一体となって市場に浸透させる努力を行ったのでした。

マンションなどの集合住宅における床衝撃音が注目される中、市場からは遮音性能のさらなるレベルアップが求められていました。中高層物件を担当する東京、大阪、名古屋の各特販課からは『ダイレクト50』はいっ製品化できるのか」という矢の催促があったそうです。しかし、単に5センチメートル縮めるだ

けとは言っても、そこには筆舌に尽くしがたい研究開発努力と相当な時間を要するものでした。遮音性能はフローリングの裏面に貼ったクッション材によって効果を発揮しますが、その反面、歩行感が悪くなるという問題がありました。ましてや、L・50やL・45をクリアする製品ともなると、モルタルの上に厚手のフェルトとカーペットを敷いたくらいの数値であり、その当時は想像だにきませんでした。

そこで研究開発部ではフローリング基材の裏に貼付していた遮音シートに改良を重ね、1991年にはL・45の遮音性能を誇る『ダイレクト45』を発売しました。さらに、バック材の材質や形状寸法などの試行錯誤を行い、貼るだけで高い遮音性能を実現する特殊緩衝材を開発しました。この技術を用いて作られた遮音直貼りフローリングは『ダイレクトエクセル』と改称され、従来の『ダイレクト』よりも



『遮音直貼りフローリングダイレクトエクセル40』

もお求めやすい価格で高い遮音性能を実現したのでした。1994年には遮音性能L・50をクリアした『ダイレクトエクセル50』を、

その翌年にはこの技術をもつ一段高め、わずか13ミリ厚でL・45の遮音性能を実現した『ダイレクトエクセル45』を発売しました。さらにその翌年には、当社製品で最高レベルの遮音性能であるL・40をクリアしながらも、適度な弾力性のある歩行感を実現した『ダイレクトエクセル40』を上市しました。現在でも『ダイレクトエクセル』シリーズはその技術を受け継ぎ、当社の主力製品として販売されています。



フローリング・室内階段・壁材製品
カタログ2023-2024 より

日本中が沸いた好景気は、1990年代初頭の大蔵省当時による金融政策の転換などを契機に一瞬で弾け飛び、この「バブル崩壊」が長い不況の入り口となりました。一方、更生計画の終結を目指していた当社は、より高機能・高次加工製品の開発を進め、現在にもつながる床暖房用フローリングを誕生させるのでした。（次号に続く）

編集後記

永大産業株式会社 事業管理部 広報課 ©2024Eidai Co., Ltd.

今回の企業探訪でお話を伺った竹に魅了され、竹製のせいろを購入しに大阪で有名な「道具屋筋」に赴きました。100円均一のショップへ行けば、安価なアルミ製の蒸し器が売られていますが、どうしても竹にこだわりたかったのです。

道具屋筋はプロの料理人が使う厨房製品を販売している店が立ち並ぶ商店街で、普段、私たちが目にしないような道具も数多く陳列されています。鍋や包丁と

いった金属製の調理道具が並ぶ中に、竹製の製品も堂々と販売されていました。せいろはもちろん、鬼おろし器やしゃもじ、竹ざるなど、様々な道具が売られています。実用性だけでなく美しさも兼ね備えた品物ばかりです。

購入したせいろで早速、野菜と豚肉のせいろ蒸しを作って、美味しくいただきました。竹のさわやかな香りが加わっているのか、いつもの料理とは一味違うように感じました。

お断り：原則、文中での敬称は省略させていただいております。